



Ngatpang Youth Association a.k.a Ngara-lus
ガッパン青年協会

会長
ジョン・テイトン

主な活動内容

- コミュニティの清掃
- 災害後の支援
- 古くなった棧橋の再建
- 葬儀や初出産のセレモニーなど伝統的な習慣の手伝い
- 特定外来生物の根絶活動
- 貝とヤシガニの養殖
- スポーツイベントへの参加者のリクルート
- 個人への寄付や職業斡旋
- 保護区ネットワークやガッパン州レンジャーとの協力



設立背景

2013年、ガッパン州にスポーツチームをまとめる青年グループとして発足。2017年に正式なNGOとなる。組織名の「ガラ-イウス」とは、パラオの伝統的な酋長制度のもと、酋長などが集会所であるバイの中で会議中、その外に立ち平和と静謐を守っていた男性組織の名前である。NGO発足時、現代版ガラ-イウスとなるべく、故デメイ・オトベ酋長により命名された。

活動目的

コミュニティの安全を維持し、地域の環境保護、また、教育や就職活動の手助けにより人々の生活の向上を図る。

メンバーからの声 ジョン・テイトン代表



15歳から54歳までの、法律、部族による血統、およびガッパン州により定められた者はだれもが「ガラ-イウス」と呼ばれますが、組織への参加は本人の意思に委ねられます。私達の活動は、古くからの伝統に基づいており、文化の継承こそが活動を支える根幹なのです。協会発足から現在に至るまで私が会長を務めておりますが、今の青年達が将来のガラ-イウスを担うリーダーになります。そのため、彼らには自分の為ではなくコミュニティを第一に考えるよう伝えていきます。しかし、現在は活動拠点になるような専用施設が無く、組織を円滑に運営することができません。パラオの伝統的な指導者と政府関係の指導者との間では、緊張感を持つことが少なくありませんが、みんなですべてを取り合い「コミュニティと人」を念頭に、恒常的な施設で組織が運営できることを私達は目指しています。

直近の活動は、ガッパン州北西部のグレメデー湾に流入する土砂の堰き止めです。河川上流に建設された新たな施設の工事により土砂が湾へと流失した際、陸と川を調査し、その原因を突き止め、そして、その対策として柵の設置や植樹により土砂の流出を管理することに成功しました。この活動により、コミュニティの強固な協力体制の重要性を改めて感じました。また、地域の人々の感謝の言葉は、この組織の正当性を示していると言えるでしょう。この組織が、州のかけがえのない財産になり、州政府を手助けできることを望んでいます。

Contact Information



www.facebook.com/groups/970046489677211